

解説



第 1 問 (山形県 最上川 流域)

山形県の 最上川 の 流域 では、江戸時代 から「紅花」という花の生産が 盛んに行われてきました。

この「紅花」は主にどのような目的で生産されてきたでしょう。



べにばな
紅花

選択肢

- (ア) 薬に使うため
- (イ) 染料の原材料にするため
- (ウ) 油をとるため

答え (イ) 染料の原材料にするため

解説：山形県 最上川 流域 では、伝統的な 服装 や 化粧品 に使われる 染料 の原材料として、

むらまちじだい 末期から べにばな 紅花 が生産されてきたよ。べにばな 紅花 の花を1輪ずつ手で摘み取り、水で洗い、発酵、乾燥させた べにもち 紅餅 は、べにばな 紅 を取り出すために加工したもので、ただ花を 乾燥 させるよりも、あざ やかな べに 紅 を取り出せるんだ。べにばな 紅花 は世界では油をとるために栽培 されるのがほとんどだけど、せんしよく 染色 用として生産する農業システムが今もなお存在 するのは、世界でもこの 地域 だけなんだ。



べにもち
紅餅

第2問 (三重県鳥羽・志摩地域)

リアス海岸の 三重県鳥羽・志摩地域 では、豊かな藻場 (海藻が生えているところ) において海女と呼ばれる女性が素潜り漁によってアワビやサザエなどを採っています。魚介の取り過ぎによる資源の減少を防ぐ目的で制限していることとは何でしょう。



リアス海岸

(写真提供 (一財)伊勢志摩国立公園協会)

選択肢

- (ア) 1回に採る貝の総量は10kgまで
- (イ) 1回の漁の時間は60～120分
- (ウ) 水中めがねを使用してはいけない

答え (イ) 1回の漁の時間は60～120分

解説: 三重県鳥羽・志摩地域の海女漁業では資源の減少を防ぐため、1日にできる漁が1

～2回、1回の漁の時間は60～120分という厳しい取り決めがあるんだ。ほかにも、採ってはいけない魚介類の大きさ、漁をしてはいけない期間や場所も決まっているよ。

また海女は、アワビやサザエ以外に、食べられるアラム等々の海藻類も採るんだけど、多くの生物が生息しアワビ等の餌となる藻場を維持するために、海藻の生えている状況を見ながら採りすぎない注意も払っているんだ！



海女による素潜り漁

第3問（大分県国東半島宇佐地域）

大分県国東半島宇佐地域では、現在国内で唯一「七島藺」という植物が栽培されている地域です。この「しちとうい」とは何の原料になるものでしょう。



しちとうい

選択肢

- (ア) 畳や網細工
- (イ) 家の屋根
- (ウ) 漬物のつげもの

答え（ア）畳や網細工

解説：大分県国東半島宇佐地域で「しちとうい」が栽培され始めたのは約350年前と言われているよ。当時は大分県内でも生産されていたけど、生産に非常に手間がかかるといった理由から生産者が減少し、現在では国東半島宇佐地域が国内唯一の産地となっているよ。近年では10名ほどの生産者が、1,000枚弱の畳表（畳の表面の直接肌に触れる部分）を作れるほどの「しちとうい」を生産しているんだ。

畳表^{たたみおもて}の原料は、「い草」が有名だけど「い草」はイグサ科の植物で茎^{くき}の断面^{だんめん}が円形なのに対し、「しちとうい」はカヤツリグサ科の植物で三角形の断面^{だんめん}なんだよ。「い草」の畳^{たたみ}よりも「しちとうい」で作った畳^{たたみ}は5倍くらい高いんだって！



しちとういの断面 しちとういから畳表を作る様子

第4問 (兵庫県 兵庫 美方 地域)

兵庫県 兵庫 美方 地域^{ひょうごけんひょうごみかた}では昼夜の寒暖差^{かんだんさ}が大きく、夜に霧^{きり}が多く発生し、夏でも柔らかい草^{やわ}が成長する地域^{ちいき}の特性^{とくせい}を生かして、その草を餌^{えま}として但馬牛^{たじまうし}を飼育^{しいく}してきました。但馬牛^{たじまうし}の改良に熱心だった兵庫 美方 地域^{ひょうごみかた}が、100年以上前に牛の繁殖^{はんしよく}に関して日本で初めて取り入れたことは何でしょう。



但馬牛

選択肢

- (ア) 海外の牛との交配
- (イ) 家族内で牛の管理や繁殖^{はんしよく}を専門^{せんもん}で行う人
- (ウ) 1頭1頭の血統情報^{けつとうじょうほう}に関する牛の台帳の作成

答え (ウ) 1頭1頭の血統情報に関する牛の台帳の作成

解説: 兵庫県 兵庫 美方 地域^{ひょうごけんひょうごみかた}では、明治30年(1897年)頃^{ごろ}に、飼育状況^{しいくじょうきょう}の把握^{はあく}と血統情報^{けつとうじょうほう}

の整理を目的に「牛籍簿（牛籍台帳）」が作られた後、牛の異動、生産、死亡などが漏れなく登録されたよ。それ以降、兵庫県すべてにこの牛籍簿が広まったんだ。この牛籍簿は、日本における牛の登録システムの始まりとなり、今も大切に保存されているんだよ。



牛籍簿

第5問（宮城県大崎地域）

山間部の冷たい水を、そのまま田んぼに引き込むと、稲の生育に悪い影響を与えることがあります。

宮城県大崎地域の山間地で行われる、稲の生育に適した温度の水を確保するための対策は次のうちどれでしょう。



宮城県大崎地域の山間地の水路

選択肢

- (ア) 田んぼをビニールハウスで囲い、人工的に温度管理を行う
- (イ) 用水路から水田に冷たい水を入れる時に、水田の近くの水路または池で温めてから水を入れる
- (ウ) 温泉水を水路に引き込み、水温を上げる

答え：(イ) 用水路から水田に冷たい水を入れる時に、水田の近くの水路または池で温めてから水を入れる

解説：宮城県大崎地域では、冷たい水が稲の生育に悪い影響が出ないように、「ぬるめ水路」

や「ぬるめ池」を^もうけて、水温を上げてから田んぼに^ひき^こむようになっているんだ。この^ちい^き地域ではほかにも、^いい^ね稲を冷たい風から守るため、水の熱しにくく、冷めにくい^とく^ちょう特徴を生かして、田んぼの水深を深くする「^ふか^みず^かん^り深水管理」といった^さい^ばい栽培方法も行われており、昔から水を^じょう^ず上手に管理してきたんだ。



ぬるめ水路

第6問 (石川県 能登 地域)

能登^のと^ちい^きの里山里海の景観を作る一つ、^{しろ}よ^ねせ^んまい^だ白米千枚田。

全部で1,004枚^{まい}の田んぼからできていますが、一番小さな田んぼの大きさはどのくらいでしょうか。



^{しろ}よ^ねせ^んまい^だ白米千枚田

選択肢

- (ア) 50センチ四方 (50cm×50cm)
- (イ) 1メートル四方 (100cm×100cm)
- (ウ) 2メートル四方 (200cm×200cm)

答え：(ア) 50センチ四方 (50cm×50cm)

解説：一番小さな田んぼは、なんと新聞紙1ページ分の大きさ！もちろんトラクターなどの機械は入れないので、手作業で田植えや^いい^ねか^り稲刈りをしているよ。これらの田んぼを守るために、地元の子どもたちや県外の人たちも参加してみんなで協力して米作りをしているんだ。